

学科名	電気通信工学科						
科目名	プログラミングⅡ ProgrammingⅡ						
科目区分	専門科目	単位数	2単位	開講時期	2年次前期		
必修・選択の別	必修科目(組込みシステムコース)/選択必修科目(電気エネルギーコース)/必修科目(情報システムコース)						
担当者	白土 浩 Hiroshi SHIRATSUCHI						
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Cの高度な記述によるプログラムを説明できる。(A3,A8,B5)</li> <li>・変数の有効範囲について説明できる。(A3,B5)</li> <li>・基本的なアルゴリズムの動作原理について説明できる。(B5)</li> <li>・データ構造をプログラム上で実現する方法を説明できる。(B5)</li> <li>・Web等で用いられているプログラム技術について動作原理を説明できる。(B5)</li> </ul>						
日程と内容	09月16日 ガイダンス・復習 09月30日 暗黙の型変換 10月07日 複雑な制御構造 10月14日 変数のスコープ 10月21日 円周率 10月28日 素数探索アルゴリズム 11月04日 総合演習(1) 11月08日 総合演習(2) 11月11日 再帰アルゴリズム 11月18日 線形リスト 11月25日 演習「連立方程式」 12月09日 演習「関数描画」 12月16日 総合演習(3) 01月13日 総合演習(4) 01月19日 定期試験 01月26日 まとめ						
成績評価基準	定期試験	45%	実技	0%			
	臨時試験	20%	部外評価	0%			
	報告書・レポート	35%	プレゼンテーション	0%			
	課題	0%					
	演習	0%	計	100%			
授業到達目標の達成度	概ね到達目標は達成できているが、今年度も進行状況を鑑みてWebプログラミングに関する単元を削減し、代わりにプログラム演習を増やしているため、「Web等で用いられているプログラム技術について動作原理を説明できる。」については達成できていない						
反省点	昨年度よりプログラミング能力の向上を図るため、プログラミング課題を増やしているが、昨年度に比べ課題の説明を増やしたり、難易度自体を少し下げることによって理解度の向上を図っているが、まだ十分ではない部分があるようで、一部のレポート課題の提出率が低い結果に終わった。この点は更に改良を進めていきたいと考える。						
来年度の計画	プログラミング課題を増やす事で演習量が増え、結果として定期試験等で操作方法やプログラム作成に戸惑う学生が減ったと感じているため、来年度もプログラムの難易度設定を調整した上で継続したいと考えている。Moodleを用いたLMS(授業管理システム)の活用は継続的に続けていきたい。						
授業評価アンケートに対するコメント	アンケート結果は概ね全学平均と一致しているようだ。今期は合格率も高かったこともあり概ね良好な評価であったと思われる。						
履修登録者数	56名	定期試験受験者数	54名	合格者数	45名	合格率	83%